

憲法

ロシアのウクライナ侵略への対応で「軍事対軍事」の悪循環に陥る危険を指摘し「東アジアを平和と協力の地域にしていく憲法9条を生かした外交戦略こそ必要だ」と意見表明。(3月23日、憲法審)



憲法審査会で意見表明(4月27日)

参院の選挙制度について「自民党が党利党略と数の力で自らに有利な制度に改変してきた」と自身の体験もふまえて告発。「参院選挙制度を憲法改定のテコとすることは絶対に許されない」とクギを刺しました。(6月8日、同)

投票権利

2019年参院選比例区で、大阪府堺市美原区の「山下よしき」票が「ゼロ」となる集計ミスが。山下議員は、比例代表非拘束名簿式の開票作業でトラブルが多発していることを示し、「憲法で保障された国政参加の権利が侵害されている」と指摘。背景に、開票従事者が33万人(01年)から22万人(18年)へと激減したことがあるとして、自治体職員を増員する抜本対策を求めました。

また、視覚障害者が最高裁判官国民審査で罷免させたい裁判官の氏名を一人ひとり点字で「自書」する投票方式は、「投票の秘密が守れない」と改善を提案。寺田稔総務相は「検討する」と答弁。(11月9日、倫選特)

外来生物

「地球上で最悪の侵略的植物」とされるナガエツルノゲイトウが淡路島のため池で繁殖し、琵琶湖ではオオバナミズキンバイという外来植物が繁殖。農業や漁業に大きな被害が。山下議員は、多大な労力がかかる駆除作業の実態を紹介。「生物多様性保全のためにも駆除を担う自治体への財政支援が必要」と主張。山口壮環境相は「必要な予算の確保に努める」と答弁。(5月10日、環境委)



琵琶湖での外来生物防除作業

石綿救済

工場周辺の住民がアスベスト疾患に侵された2005年のクボタショックを契機にできた石綿救済法。しかし、いまま中皮腫による死亡者が年1500人前後うまれています。山下議員は「石綿の危険性を認識しながら、20年近くも安全対策をとらず大量輸入を続けた国の責任は極めて大きい。救済給付を労災並みの水準に引き上げるべきだ」と迫りました。(6月10日、環境委)

山下よしき 2022年 質問一覧 208国会

3月18日 予算委	非正規雇用を正規に 少子化の大きな原因 新自由主義の弊害ただせ
3月23日 憲法審査	ウクライナ侵略「軍事対軍事」でなく「憲法9条を生かした外交戦略を」と意見表明
3月24日 環境委	石炭火力発電の廃止早く「温暖化対策待ったなし」アンモニア発電展望ない
4月1日 本会議	岸田首相に外交でロシア包囲を 核禁条約参加迫る 政府のロシア外交反省必要
4月27日 憲法審査	本会議のオンライン出席と「緊急事態」を結び付けた議論は改憲に結び付くと批判
4月28日 環境委	大阪摂津PFOA高濃度汚染 国はダイキンに情報公開させよと迫る
5月10日 環境委	侵略的外来生物 水際対策、自治体への財政支援の強化を
5月13日 本会議	石炭火力から抜け出せ 再エネの大量導入へと転換を 温暖化対策推進法改正案で主張
5月17日 環境委	日本の温室効果ガス削減目標は1.5度目標と整合せず 石炭火力の延命やめよと迫る
5月19日 環境委	気候対策 科学的根拠でなく産業界の意向に重点 政府の姿勢で参考人
5月24日 環境委	日本の温室効果ガス削減目標で1.5度目標達成の根拠示せず 追及に環境相
6月8日 憲法審査	参院選特定枠は自民横暴で導入 参院選挙制度を憲法改定のテコにするなど批判
6月10日 環境委	水俣病と認めない感覚障害 水銀影響の科学的根拠否定できず 水俣病と認めよと迫る
6月10日 環境委	石綿救済法 国と原因者は責任果たし労災並みに補償すべきと迫る

210国会

11月1日 環境委	統一協会会長と認識し西村環境相が関係か 大阪IR・カジノ用地のPCB汚染の調査を
11月9日 倫理選挙	開票トラブル多発で「自治体職員増やせ」 最高裁国民審査点字自書は改善をと要求
12月6日 環境委	大阪カジノ予定地・夢洲 猛毒PCB含むしゅんせつ土砂が大量投棄 調査すべきと迫る

☆作家の平松洋子さんの新著『いわしバターを自分で』(文春文庫)をいただきました(3月)。コロナ禍の巣ごもりのなかでの食事と料理を中心に日常が描かれた心ほぐれるエッセイ集。私の料理動画も紹介され、「料理の熱とともに政治の言葉に血が通っている」と。光栄です。



☆新型コロナに感染しました(11月)。体温39度、血中酸素飽和度94に悪化。基礎疾患のある私は主治医に相談、幸いベッドが空き、入院治療できました。感謝です。すべての患者に必要な医療が提供される社会を。

2023年新春 国会報告 NO.14

近畿、全国のみなさん、いつも応援ありがとうございます。

新しい国会報告ができましたのでお届けします。日本共産党創立100周年の年に、参議院議場の演壇に立ち、旧ソ連からの乱暴な干渉と生死をかけてたたかい「自主独立」路線を確立した歴史を堂々と訴えることができたことは大きな誇りです。

大軍拡・大增税にストップをかけ、憲法9条を生かす政治へと力をあわせませす。今後ともご支援よろしく願いいたします。

山下よしき



(写真上) 参院本会議のG7報告質疑で、岸田首相に、ロシアによるウクライナ侵略の即時中止にむけて国際世論で包囲する外交活動や、核兵器禁止条約への参加などを求める(2022年4月1日)

(写真左) カジノを中核とする統合型リゾート(IR)の予定地「夢洲(ゆめしま)」(大阪市此花区)の土壌汚染問題をめぐり、現地をたつきコーナー元参院議員(左端)と調査(2022年11月10日)



日本共産党 副委員長・参議院議員

山下よしき

【国会事務所】〒100-8962

【近畿ブロック事務所】〒537-0025

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1123号 大阪市東成区中道1-10-10 ホクシンピース森ノ宮102
TEL:03-6550-1123 FAX:03-6551-1123 TEL:06-6975-9111 FAX:06-6975-9115

日本共産党 参議院議員 山下よしき

ホームページ:

<https://www.yamashita-yoshiki.jp/>



@jcpyamashita

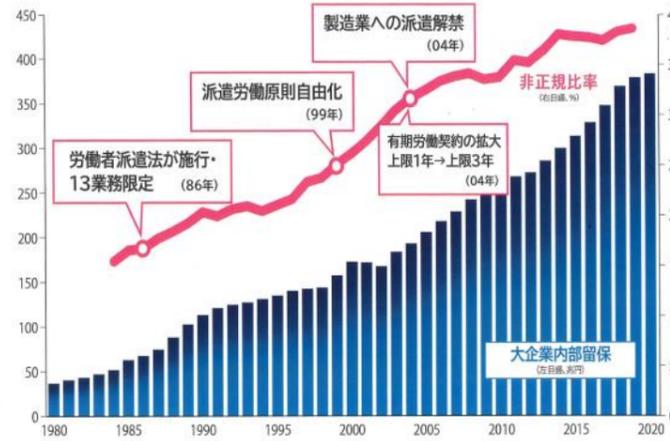
非正規雇用

予算委員会（3月18日）で、コロナ禍で多くの労働者が困窮した「シフト制労働」の問題、非正規雇用と少子化の問題をたどりました。

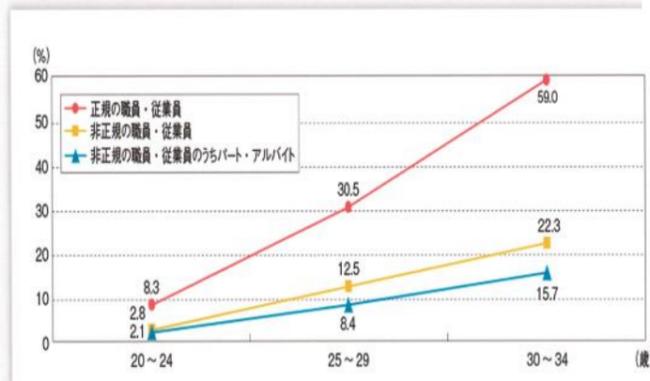
シフト制労働のルール実現！

山下議員は、前年の同委員会でシフト制労働について「EU指令のような契約のルールが必要だ」と提案、田村憲久厚労相（当時）は「検討する」と約束していました。今回、後藤茂之厚労相は「EUなどを調査し『留意事項』を策定した」と説明。山下議員は「最低限（就労）日数」の事前合意が一方的なシフト削減時の休業手当支払いの根拠になることを確認し、周知徹底を求めました。

資料④ 非正規比率の上昇と大企業の内部留保の増加



資料⑤ 男性の従業上の地位・雇用形態別有配偶率



少子化の原因は非正規雇用

また、非正規雇用比率が80年代の1割台から4割に増えた事実（図・上）を示し、労働法制の相次ぐ規制緩和によるものと指摘。30歳から34歳の非正規雇用の男性の有配偶率は正規雇用の3分の1しかないデータ（図・左）も示し、「非正規雇用の増大が未婚化・少子化の大きな原因になっているとの認識はあるか」と質問。野田聖子少子化相は「明らかだ」と認めました。

新自由主義の弊害だけ

山下議員は、非正規雇用で長年働く35歳男性の経歴（図・右）とともに「結婚など先のことは考えられない。同年代は結婚しているが自分はデート代も出ない」などの声を紹介。「彼ら、彼女らは雇用の形こそ非正規だが、仕事の中身と志はプロフェッショナルだ。なのに、低賃金で不安定な働き方を強いられ、結婚したくてもできない若年層が増えている」と告発。「岸田首相の言う『新自由主義の弊害』の中に、非正規雇用を4割に増やしたことは含まれるか」と迫りました。松野博一官房長官は「さまざまな見方がある」と“逃げ”の答弁に終始。山下議員は「そういう認識でどうやって少子化を止めるのか」と厳しく批判、他党議員からも「そうだ」の声が響きました。

資料⑥ Aさん(35歳)の高校卒業から現在までの職場の経歴



よしきsPhoto



国連世界食糧計画日本事務所の焼家直絵代表にウクライナ支援募金を手渡す(4月21日、東京都渋谷区)



参議院選挙の街頭演説で「外交、9条生かせ」と訴え(6月23日、和歌山県海南市)



参議院選挙の宣伝で青年の質問に答える(6月25日、大津市・石山駅前)

気候危機

地球の気温上昇を「1.5度」に抑えるためには、あとどのぐらいCO2（二酸化炭素＝温室効果ガス）を排出できるかを示す「カーボン・バジェット」（炭素予算）。山下議員は、主要7カ国（G7）中で、日本の2030年排出削減目標が、カーボン・バジェットから期待される目標値と最もかけ離れていることを指摘。「1.5度に抑えられる」とする山口壮環境相に根拠をたどりましたが、根拠は示されませんでした。山下議員は「それでは国際的説得力をもたない。根本にCO2の最大の排出源である石炭火力発電を2030年の電源構成で19%も残そうとしていることがある」として再生可能エネルギーへの転換を求めました。（5月24日、環境委）

政府と電力大手は「CO2を出さない火力発電」としてアンモニア燃料を推進しています。山下議員は、アンモニアは生成時にCO2が大量発生すること、輸入に頼らざるを得ず高コストであることを示し、「CO2削減効果も現実性もない。動機は石炭火力の延命だ」と批判しました。（5月13日、本会議）



参院本会議で質問(5月13日)

大阪カジノ

大阪の維新府政が府民の声を無視して進めるカジノ。山下議員は、予定地の夢洲には猛毒のPCBを含むしゅんせつ土砂が大量投棄されているのに土壌調査が行われていないことを告発。西村明宏環境相は「安全や環境の法令に適合しなければならない」と答弁。さらに山下議員は、予

定地の地層が70m以上の地下深くまで軟弱地盤であることを示し、阪神・淡路大震災で起こった「側方流動」の危険があることを指摘しました。（11月1日、12月6日、環境委）



阪神淡路大震災での被害

水俣病

「環境行政の原点」の水俣病。1977年の「判断条件」で「水俣病」の病状が狭く定義されたため、水俣病と認められない患者が7万人にも上ります。山下議員は、「原因確率」を用いて計算すると、不知火海沿岸地域ではメチル水銀曝露によって感覚障害が引き起こされた確率が95%以上になることを示し、「科学的根拠になる。水俣病と認定されないのは『判断条件』が間違っているからだ」と迫り。環境省は「（原因確率が）対象疾病、対象地

域の設定に用いられているのは承知している」と答弁。（6月10日、環境委）



「ノーモア・ミナマタ訴訟原告団・弁護団」と「国会議員連絡会」との懇談に参加(6月9日)

PFOA

発がん性や胎児への影響などが指摘される有機フッ素化合物・PFOA。そのPFOAが、大阪府摂津市のダイキン工業周辺の地下水や土壌、農作物、それを摂取した住民の血液から高濃度で検出されました。山下議員は、地域住民がダイキンに情報公開を求め、摂津市議会が国に健康影響や水環境の調査を求める意見書を全会一致で採択したことを示し、「国として情報公開させ調査を行うべきだ」と迫りました。山口壮環境相は「大阪府に

しっかりやっていただきたい」と答弁。山下議員は「大阪府まかせでいいのか。米国は1兆1千億円かけてPFOAの調査や浄化を行う。日本は土壌基準もなく遅すぎる」と批判しました。（4月28日、環境委）



大阪府摂津市PFOA汚染調査で住民の方から話を聞く(4月24日)

国会正門前の国葬反対集会に参加(9月27日)



雨の中「市議選必勝を」と訴え(10月9日、兵庫県川西市)



「命・暮らしを守る議席増を」と演説会で訴え(10月29日、奈良県斑鳩町)